

2019年9月6日

## 第43回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告書

先日開催されました日本陸上競技連盟トレーナー研修会についてご報告いたします。

### 記

1. 日時 2019年8月31日(土)
2. 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室、陸上競技場
3. プログラム
  - 講義 「暑熱環境における安全対策」  
細川 由梨先生(早稲田大学)
  - 「陸上競技会での救護活動」  
加藤 基(日本陸連トレーナー部委員・帝京大学)
  - 報告 「アジア選手権帯同活動報告」  
常友 綾二(株式会社リニアート)  
(代理)加藤 基(日本陸連トレーナー部委員・帝京大学)
  - 「世界リレー2019活動報告」  
村田 亜由美(日本陸連トレーナー部委員・ReCuA Therapy Room)
  - 実技 「陸上競技場での救護活動のシミュレーション」  
日本陸連トレーナー部委員

### 4. 内容

1年後に迫った2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけて、トレーナー活動の中で想定される暑熱環境下での対応や、スタジアム救護についての研修をより深め、研鑽を積み重ねることが日本における陸上競技大会の救護活動の充実化に必要とされています。

研修前半は、「暑熱環境における安全対策」というテーマで細川先生をお招きしました。講義では、科学的根拠に基づいた熱中症の知識や、労作性熱射病に対する対応の日本の現状とグローバルスタンダードとの差異、スポーツ現場における病院搬送前の対応の流れについて実例を提示しながら説明していただきました。

研修後半は、「陸上競技会での救護活動」をテーマに加藤委員から救護活動の計画と実践について講義をしていただきました。陸上競技大会の特殊性を含めて改めて救護活動の概要を総ざらいすることで、トレーナーの共通認識が高まる内容を説明していただきました。その後、陸上競技場に移動して救護活動のシミュレーションを行いました。グループに分かれ、実際の陸上競技大会で起こり得る複数種目・同時進行中のアクシデントを想定した実習を通じ、様々な状況下での現場対応と競技会全体の差配について意見交換がなされました。



以上